

令和4年9月（長月）

令和4年9月1日

# 女良公民館だより

氷見市女良公民館

館長 清水 孝則

今年もコロナ感染拡大防止に配慮しながら、できる範囲の取組を実施していきたいと考えています。そこで、今まで実施した取組とこれから予定している取組をご案内し、いろいろな形で地区の動きを紹介していきたいと思います。

## 虻が島自然学習や虻が島清掃

6月26日(日)

### 姿地区「虻が島を守る会」の取組

今年も姿地区の「虻が島を守る会」による草刈りとごみ拾いが実施されました。虻が島にある貴重な植物と雑草を区別しながら手間のかかる作業を行ってくださったおかげで、今年も子どもたちは虻が島で貴重な学習を体験することができました。

毎年草刈りやごみ拾いなどを続けてくださっているからこそ、虻が島が女良地区、さらには氷見市が他地域に自慢できる存在として維持されていると再確認しました。

姿地区の皆様、ありがとうございます。

7月17日(日)

### 灘小による「虻が島学習・虻が島清掃」

今年は天候に恵まれ、「虻が島学習・虻が島清掃」に親子 30人が参加してくださいました。

先発隊の6年生は「虻が島をきれいにしたい」とゴミ拾いに意欲的に取り組み、外国から流れ着いた袋や漁業関係の網やロープなどをたくさん集めてくれました。

今年もビニル袋やペットボトルなど身近なゴミと流木が多く見つかりました。身近なゴミを出さないことも虻が島を守る大切な取り組みだと再確認しました。

植物については自然保護員の関一朗さん、生き物（特にウミウシ）などについては高岡生物研究会会長「泉治夫」さんのご協力のおかげで、子どもたちは今年も生きている姿に触れ、他に類のない虻が島の自然を体感することができました。

## 虻が島に『松』の苗を移植する取組に挑戦することになりました！

以前から、女島の松の生育が心配される声を耳にし、市と相談を重ねてきました。そこで、今年は『松』の苗を小学校や両公民館などの協力のもとで育て、虻が島に移植する取組に挑戦することになりました。根付くまでにはいろいろな条件を乗り越えなければならないため、時間がかかるかもしれませんが、虻が島の自然と景観を守るための第一歩に地道に取り組んでいきたいと考えています。

7月17日(日)

### 道神社の講演会が行われました

県指定の文化財「道神社拝殿」の保存修復工事が終了し、創建当時の雄大な姿が再現されました。

「道神社」の再建に尽力くださった職藝学院の上野幸夫教授の講演会と見学会が「女良地域づくり協議会」主催のもと、産業文化センターで行われました。

上野教授の道神社への熱い想いと他の神社と違う建物の造りに関わるエピソードなどを拝聴し、地域住民として、道神社を護り、次世代に伝える大切さを実感しました。

## 「魚釣り大会」のお知らせ

灘浦小学校の児童を対象とした「魚釣り大会」を10月2日(日)に計画しています。

その際「魚さばき方教室」は実施せず、「魚釣り大会」のみ、ソーシャルディスタンスを保ちながら進めたいと考えています。

コロナ禍がまだ続いている時期ですので、実施状況を注視しながら学校と相談のうえ、最終決定をしたいと思います。

詳細は学校にご案内しますので、実施の際はご参加いただきますようお願いいたします。